

第3回 留萌市地方創生協議会 議事概要

【日 時】 平成 27 年 10 月 1 日（木） 16:59～17:33

【場 所】 市役所 3 階 市議会第 2 委員会室

【出席者】 委員：對馬委員、山口委員、稲垣委員、西澤委員、山本委員、村上委員、米倉委員、
高橋委員、田中委員

代理：小野代理委員(留萌信用金庫)

市：高橋市長、中西副市長、麻林教育長、早川地域振興部長、
高橋政策調整課長、江川政策調整課主査

【主な内容】

◆市長あいさつ

◆概要説明

① 留萌市人口ビジョン【案】について

◆意見交換

【市長あいさつ】

- ・ 留萌市は昭和 42 年以降人口減少に歯止めがかからない状況が続いている。
 - ・ 国鉄羽幌線の廃止や底引き船など漁業の衰退、国の出先機関の廃止に伴って、急激に減少している。また、高校卒業後に、地元就職できず地方に出て行ってしまう現状の中で、歯止めがかけられずにいた。
 - ・ 今回の人口ビジョンでは、将来推計をしつつ、それを死守するために、行政として政策的にどういうことに取り組んでいかなければならないのか、目標を定めて力を合わせていきたい。
 - ・ 人口減少に歯止めをかけるために、市民すべてが力を合わせていける体制づくりに、ご意見いただきたいと思う。
-

【意見交換】

- ・ 29 ページの修正文のつながりがおかしいのではないか。

〔 ⇒ 再検討し、修正する。 〕

- ・ 危険空家数及び商店街における空き店舗数のグラフは、年度末の数値なのか、それぞれの年に新たに追加された数値なのか。
-

⇒ 年度末の数値である。前年度末に対し新たに追加となった件数や解体となった件数が差引され、それぞれの年度末の件数となっている。

- ・ 19ページで、産業別の就労状況が出されている。農業に携わる就労人口は、10年経過してもさほど減っていないが、農地面積も限られている中で、1千人、2千人が就業したいとなってもできるのか。一方、ブランド力がつくことによって、サービス業などへの波及効果も期待できるが、2040年の生産年齢人口に対する割合なども視野に入れた施策を、今後総合戦略の中で検討していかなければならないと思う。

建設業でいえば、社会資本整備にも一定程度の限界があると思うが、道路維持や除雪、水道などといったものは不可欠であり、そういった面も含めて総合戦略の中で検討が必要だと思う。

- 今回の人口ビジョン(案)に若干文言の修正を加え、10月上旬に内部庁議にかけ、決定していく。

【次回会議等】

- ・ 総合戦略のたたき台を10月8日頃を目途に作成し、日程調整させていただいたうえで、開催のご連絡差し上げる。
-